

**製品名: CNGB1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00397**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 140 kDa; Observed MW: 102 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CNGB1
別名	CNG4; GAR1; GARP; RP45; CNCG2; CNCG4; GARP2; RCNC2; RCNCb; CNCG3L; CNGB1B; RCNCbeta
遺伝子 ID	1258
SwissProt ID	Q14028
免疫原	抗血清はヒト CNGB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 571-620

**背景**

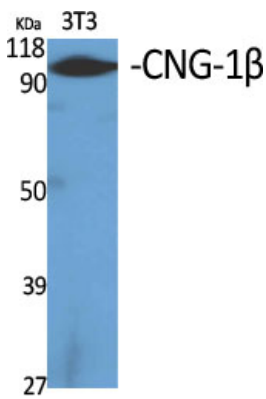
環状ヌクレオチド依存性 (CNG) チャネルのサブユニット。CNG チャネルは非選択的陽イオンチャネルであり、視覚と嗅覚の両方の

シグナル伝達において重要な役割を果たします。CNGA1 と結合すると、光誘導による細胞内 cGMP レベルの変化に応答して、桿体光受容体外節 (ROS) へのイオン流入を調節します。アイソフォーム GARP2 は、高親和性桿体光受容体ホスホジエステラーゼ (PDE6) 結合タンパク質であり、その触媒特性を調節します。桿体 PDE6 の自発的活性化を調節することで、桿体光受容体の「ダークノイズ」を低減し、これらの感覚細胞が単一光子検出限界で機能できるようにします。

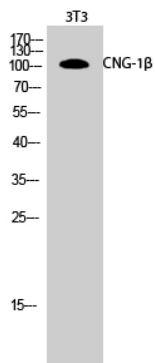
## 研究分野

シグナル伝達

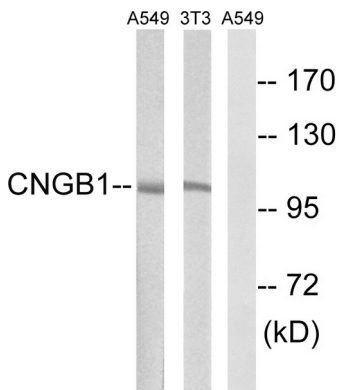
## 画像データ



CNGB1 抗体を使用したさまざまな溶解物中の CNGB1 のウエスタン ブロット分析。



CNG1β 抗体を用いた 3T3 溶解物中の CNGB1 のウエスタンブロット分析。



CNGB1 抗体を用いた NIH/3T3 および A549 ライセート中の CNGB1 のウエスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。